北京で行われる
国際的盛事及び展覧会の案内

国際的盛事への招待

北京観光特集 第六弾

北京市文化観光局

Beijing Municipal Culture and Tourism Bureau

© 2019 Visit Beijing All Rights Reserved

国際的盛事及び展覧会の集まり場

中国の政治、経済、文化及び国際交流の中心である北京は開放的、融合的かつ国際的なイメージを見せ、より多くの国際的盛事の開催地と定められた。2019年から、北京では世界園芸博覧会（以下は世園会に省略）、世界レジャー大会とオリンピック冬季競技大会が相次いで開催される。これらの国際的盛事は北京の国際交流の名刺とされ、国際交流中心である北京の役割を表し、また北京が擁する展覧会及び競技試合という重要な観光資源を呈している。

今期号では、北京の園芸、レジャー及び氷雪の三大イベントを案内し、北京の園芸、レジヤー及び氷雪の観光資源を利用し、それにより多彩な国際的な大都会である北京の魅力を感じよう。

北京で開催する国際的
盛事及び展覧会

ハイライト

- 世界各国の園芸に飾られるより多彩な北京
- レジャーシティーをまわり、高質な生活を楽しむ
- 冬季五輪で盛り上がる氷雪との約束を果たす

2019年世界園芸博覧会の概要

世界園芸博覧会は国際的な園芸展覧会であり、世界各地の素晴らしい園芸を集めることで各国の文化芸術の交流を推し進める。2019年の世園会は北京の延慶区で開催される。「緑の生活、より良い生活」とのテーマで園芸を自然に融合させ、自然の心を感動させるとの旨を表す。今回の世園会は長い歴史の持つ中華文明を園芸に浸透させ、それで中国の園芸文化を積極的に広め、中国の魅力を世界に見せる。園区は八達嶺長城から僅か10キロ離れるため、「長城の足元にある世園会」とも呼ばれている。

世界各国の園芸に飾
られるより多彩な北京

世界各国の園芸に飾
られるより多彩な北京

「四つの展覧館と一つのセンター」
―― 会場概要

中国館

中国館は今回の世園会における一番重要なランドマークとされている。そのデザインのインスピレーションは中国の伝統的なマスコット――如意によるの発想である。また、展示会場の設計理念は祖先の「巣居」や「穴居」の暮らし方の知恵を取り入れて成り立ったものである。「呼吸ができる」、「命のある」グリーンな建物として、生態文明の理念を世の中に広げていく。

国際館

国際館は今回の博覧会のメイン会場の一つとして、各国の室内展覧と園芸大会がここで行われる。国際館の建築プランは94の「花の傘」からなり、園区内で一面の「花の海」ができている。猛暑日には巨大な日よけ傘として来場者に心地よい休憩エリアを提供し、また夜のとばりが降りると照明が使われ、カラフルな花の海の中にいるようで煌びやかな夜景を楽しめる雰囲気を作り出す。

生活体験館

生活体験館のモチーフはグリーンライフを推奨することである。館内は暖かい思いやりが感じられる北方村落の設計で、素朴な建築材料が用いられ村落のありのままの様子が見える。「種まき」、「育ち」、「灌漑」、「豊作」という四大テーマで、田舎の趣が凝縮され、自然風景を味わいながら田園生活を体験できる。

パフォーマンスセンター

開幕式や閉幕式などの大型イベントの開催会場であるメイン会場として、媯汭湖景勝地に位置するパフォーマンスセンターは蝶の姿をデザインのインスピレーションとされている。山と川のある自然風景を満喫しながら飛んでいる蝶のようで、自然景観と人工の建築が巧みに融合されている。観光客は必ずその美しさに魅了され、名残惜しく立ち去りがたくなるだろう。

世界各国の園芸に飾
られるより多彩な北京

植物館

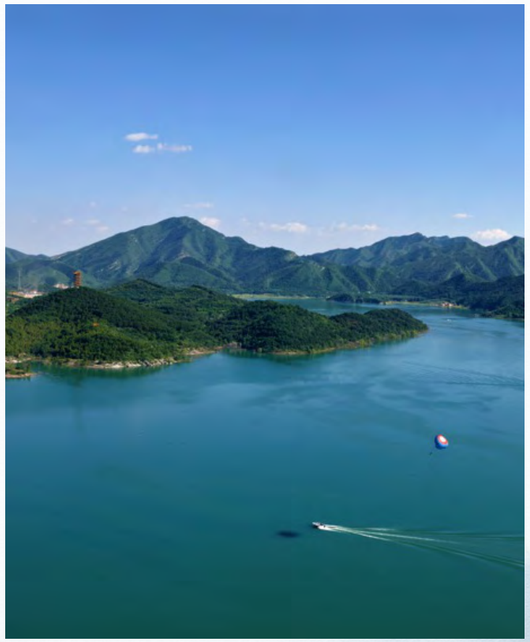
植物館では、植物の多様性及びその生存の知恵が展示され、人々に生態環境に注目して植物の保護に取り組むよう呼びかける。「昇った地面」という設計のコンセプトを持ち、植物の根からのインスピレーションで、植物が根を土壌に下ろす強い生命力をそのまま表し、来場者に激しい視覚的インパクトを与える。

レジャーシティーをまわり、
高質な生活を楽しむ

2020年世界レジャー大会の概要

世界レジャー大会はレジャー業界における一番影響力の高い盛事である。2020年世界レジャー大会は北京の平谷で開催される予定で、中国初のレジャーをテーマとする大型ハイレベル会議である。本大会はテーマを「レジャーでライフクオリティーを高める」にし、「1＋4＋N」の開催モードを用いる。来場者は各サブ会場と一連のスペシャルイベントを通して自然に触れあい、ハイクオリティーのライフスタイルを体験することができる。

レジャー大会の会場について



金海湖鎮メイン会場

平谷区にある金海湖鎮は今回の大会のメイン会場であり、各会議と展覧会がここで開催される。山を背に川に臨んで景色が美しい。望海亭や公主墓（お姫様の墓）などの自然風景のほか、氷雪世界（氷雪をテーマとするパーク）を始めとするレクリエーション施設があり、観光客に多種多様な娯楽施設を楽しめる環境を提供できる。

Y髻山文化レジャーサブ会場

道教の聖地であるY髻山はその歴史の長い文化により、レジャー大会の文化レジャーサブ会場に定められ、文化養生祭りや大桃カーニバルなどのイベントの開催地になっている。Y髻山の文化レジャーパークでは、濃厚な文化の雰囲気を感じながらのんびりと一休みすることができる。

楽谷音楽レジャーサブ会場

中国楽谷は総合的な音楽基地として今回のレジャー大会の音楽サブ会場と定められた。ミュージックカーニバルを始めとする大型イベントの開催地として、レジャー産業と音楽を有機に統合させ、音楽と自然、文化との融合を表し、人々はここで音楽を通じてレジャーライフを体験できる。

金海湖スポーツレジャーサブ会場

スポーツサブ会場に指定された金海湖には、北京市における最大の総合型水上娯楽施設と氷雪世界があり、水上スポーツと氷雪スポーツを楽しめる絶好な場所である。レジャーカップの開催中、航空体験イベントや競技などがここで催され、観光客にとって独特なスポーツレジャー体験の思い出になるのであろう。

洵洳川エコ農業レジャーサブ会場

発達した農業資源に恵まれることで、洵洳川はエコ農業サブ会場に指定された。それにより当地の農業レジャー観光のコンテントを一層豊かに開発することができる。レジャー大会の開催に向け、緑の回廊、詩画農荘が建てられ、芸術的方式でエコ農業の魅力を見せることが求められる。

リゾート地・景勝地の案内

老象峰景勝区

老象峰は「神泉峰」とも呼ばれ、巨大な象が山頂に聳え立ち、かがんで水を飲んでいるように見える。多種多様な植物がはびこり、菊の花が谷に満ち溢れている、山と川は一体となってわかちようもなく、一年中四季折々である。ここでは、高いところに登り遠いところを見渡し、山水に思いを寄せることができる。のんびりとリラックスするには絶好な観光地とリゾート地だといえよう。

石林峡景勝区

石林峡は峡谷に山々が真っすぐにそそり立ち、まるで石林のようであることから名づけられている。峡谷全体は草木が青々と茂っており、山と川にも飾り付けられ、天然の山水の絵巻のように見られている。ここでは、北方の壮美も南方の秀麗も感じられ、本来の素朴なすがたに戻り自然に帰ることができる。

湖洞水景勝地

大きな峡谷に位置する湖洞水は谷のなかに湖があって山に洞窟があり、川がさらさらと流れることでその名が付けられた。ここには険阻な山やうっそうと茂る林などの自然景観が見え、観景亭財神廟といった人文景観も見える。谷に深く入ると、自然のなかでのんびりと休むことができる。

勝泉親水湾

勝泉親水湾には有名な勝泉庵があり、周囲の植物がはびこっており、所在の連峰が亀のように見え、周りに山と川に囲まれている。毎年は雨季になると、天然の滝ができて非常に壮観な景色になり、山水の美を存分味わえる絶好の所といえよう。

2022年冬季オリンピックの概要

冬季オリンピックは世界最大の冬季に行う総合的スポーツ大会である。北京は質の高い氷雪競技資源及び数多くの試合開催の経験を有することで2022年の第24回冬季オリンピックの立候補申請に成功し、オリンピック史上初の夏季・冬季両大会を開催する都市となっている。

今回の冬季五輪は世界に北京の勃興な発展ぶりと豊富な氷雪観光資源を発信する。氷雪との約束を果たすことで、冬のスポーツを人々の日常生活に浸透させ、国際交流を一層発展させていくだろう。

冬季五輪で盛り上がる
氷雪との約束を果たす

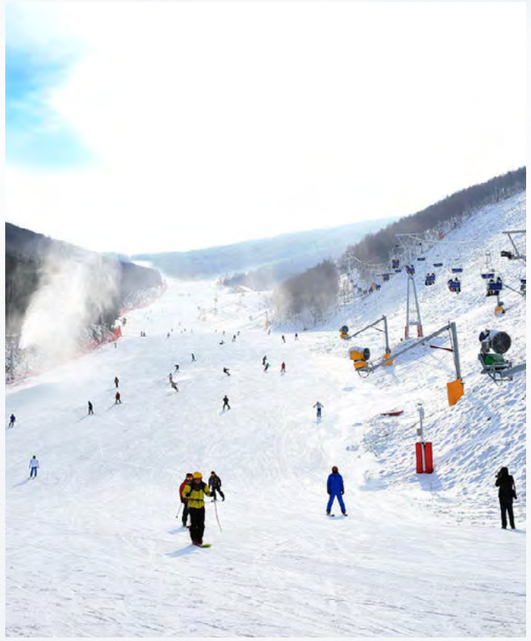
試合会場の観光

北京会場

2022年冬季五輪のメイン競技会場である北京会場には、イベントと試合の開催地が13か所ある。古代の趣と現代の繁華が統合された北京では、故宮や天壇を訪れて皇室の威厳を感じたり、胡同を行き来して独特な住宅を見物したり、ウォーターキューブや鳥の巣を訪ねて現代建築の魅力を味わったりすることができる。北京冬季五輪をきっかけにして、この長い歴史を持ちながらおしゃれな北京城の魅力を感じに行こう。

延慶会場

サブ会場である延慶区会場は、アルペンスキーやスレーなどの項目の試合会場である。北京郊外の観光景勝地である延慶区は独特な風景に恵まれている。また、豊富な氷雪の観光資源を擁し「氷雪の城」と呼ばれている。ここでは、氷灯籠を鑑賞したりスキーしたりして、一面真っ白な氷雪の世界のロマンチックな雰囲気を味える。



張家口会場

崇礼区にある張家口会場は北京からわずか180キロ離れ、首都経済圏の重要な一部分である。北京冬季五輪のスキーとバイアスロンとの両項目の競技会場でもある。張家口は無形文化財と特色ある民間芸術を数多く擁し、氷雪の資源にも恵まれている。スキー産業の発展が20年ものの歴史を持っている「崇礼スキー」は既に張家口の海外進出時の名刺になっている。

ご連絡をお待ちしております

ご連絡をお待ちしております

もし関連の観光商品やサービスがございましたら、ご連絡をお待ちしております。

北京観光委員会公式メールアドレス：visitbeijing@whlyj.beijing.gov.cn

ウェイボーアカウント
北京市観光発展委員会

WeChatアカウント
北京市観光発展委員会
北京観光

公式ウェブサイト
http://www.visitbeijing.com.cn/

北京文旅
Beijing

ご覧いただきありがとうございます！